

Ⅲ. 研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の 編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
黒田 宙, 藤原一男, 糸山泰人	血漿交換療法	阿部康二 編	神経内科 検 査・処置マニ ュアル	新興医学出版 社	東京	2001	165-169
藤原一男, 中島一郎, 糸山泰人	免疫学的診断法	柴崎 浩, 田川皓一, 湯浅龍彦 編	ダイナミック神 経診断学	西村書店	新潟	2001	627-635
越智博文, 吉良潤一	中枢神経における肥満細胞の存在と役 割	田中正美, 湯浅龍彦	別冊・医学のあ ゆみ	医歯薬出版	東京	2001	17-21
吉良潤二, 三野原元澄	多発性硬化症の病像—アジア型と西洋 型—	田中正美, 湯浅龍彦	別冊・医学のあ ゆみ	医歯薬出版	東京	2001	84-88
吉良潤一	アトピー性脊髄炎—アトピーと中枢神 経傷害の関連を探る—	田中正美, 湯浅龍彦	別冊・医学のあ ゆみ	医歯薬出版	東京	2001	102-108
吉良潤二	多発性硬化症	多賀須幸男, 尾形悦郎, 山口 徹, 北原光夫	今日の治療指針 2001年版—私 はこう治療して いる	医学書院	東京	2001	235-236
吉良潤一	急性散在性脳脊髄炎	杉田秀雄, 福内靖男, 柴崎 浩 監修	先端医療シリ ーズ14 神経・筋 疾患：神経・筋 疾患の最新医 療	先端医療技術 研究所	東京	2001	158-160
吉良潤一	急性散在性脳脊髄炎	山口 徹, 北原光夫	今日の治療指針 2002年版 —私はこう治療 している—	医学書院	東京	2002	567
吉良潤二	多発性硬化症		今日の診断指針 2002年版	医学書院	東京		印刷中
堀内 泉, 吉良潤二	多発性硬化症	田村 晃, 松谷雅生, 清水輝夫	EBMに基づく 脳神経疾患の基 本治療	メジカルビ ュ	東京		印刷中

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
堀内泉, 吉良潤二	急性散在性脳脊髄炎	田村晃, 松谷雅生, 清水輝夫	EBMに基づく 脳神経疾患の基 本治療	メジカルビ ュー	東京		印刷中
越智博文 吉良潤一	アトピー性脊髄炎と肥満細胞	黒沢元博,	肥満細胞の臨床	先端医学社	東京		印刷中
吉良潤二	ウイルス性髄膜炎、ウイルス性脳炎、 その他のウイルス感染症	杉本恒明, 小俣政男, 水野美邦	内科学 第8版	朝倉書店	東京		印刷中
小副川学 吉良潤一	アトピー性脊髄炎	内菌耕二, 小坂樹徳	看護学大辞典 第5版	メヂカルフレ ンド	東京		印刷中
Kira J.	Asian type of multiple sclerosis.	Sinha K K	Advances in Clinical Neuroscience 2002				in press
吉良潤二	ウイルス性脊髄炎	二ノ宮節夫, 富士川恭輔, 越智隆弘, 国分正一, 岩谷力	今日の整形外科 治療指針	医学書院	東京		印刷中
有村公良	筋痙攣と自己抗体, Stiff-person 症候群, Isaacs 症候群	田中正美, 湯浅龍彦	別冊・医学のあ ゆみ, 21世紀の 神経免疫学ー展 望	医歯薬出版	東京	2001	195-199
出雲周二	HAMの発症機序	田中正美, 湯浅龍彦	別冊・医学のあ ゆみ, 21世紀の 神経免疫学ー展 望	医歯薬出版	東京	2001	119-123
植進	Guillain-Barré 症候群	糸山泰人, 小林祥泰, 祖父江元	神経・筋疾患の 最新医療	先端医療技術 研究所	東京	2001	227-231
海田賢一, 植進	抗ガングリオシド抗体と末梢神経障害 ーGBSにおける抗ガングリオシド抗 体と臨床的特徴の関連ー	田中正美, 湯浅龍彦	別冊・医学のあ ゆみ, 21世紀の 神経免疫学ー展 望	医歯薬出版	東京	2001	129-132

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の 編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
楠 進	多発単神経炎、M蛋白血症を伴うニ ューロパチー	祖父江元	看護のための最 新医学講座 第1巻 脳・神経系疾患	中山書店	東京	2002	271-276
斎藤豊和	末梢性顔面神経麻痺 (ペル麻痺)	山口 徹, 北原光夫	今日の治療指針 2002年版 (Volume44)	医学書院	東京	2002	581-583
荻野 裕, 斎藤豊和	多発神経炎	祖父江元	看護のための最 新医学講座 1. 脳・神経系 疾患	中山書店	東京	2002	243-247
斎藤豊和	末梢性顔面神経麻痺	祖父江元	看護のための最 新医学講座 1. 脳・神経系 疾患	中山書店	東京	2002	277-281
酒井宏一郎	傍腫瘍性神経症候群の分子生物学	田中正美, 湯浅龍彦	別冊・医学のあ ゆみ, 21世紀の 神経免疫学ー展 望	医歯薬出版	東京	2001	177-180
錫村明生	多発性硬化症の治療ーホスフォジエス テラーゼ阻害薬ー	田中正美, 湯浅龍彦	別冊・医学のあ ゆみ, 21世紀の 神経免疫学ー展 望	医歯薬出版	東京	2001	93-97
錫村明生	脳のサイトカインネットワーク	田中正美, 湯浅龍彦	別冊・医学のあ ゆみ, 21世紀の 神経免疫学ー展 望	医歯薬出版	東京	2001	27-31
水野哲也, 錫村明生	AIDS 脳症	田中正美, 湯浅龍彦	別冊・医学のあ ゆみ, 21世紀の 神経免疫学ー展 望	医歯薬出版	東京	2001	98-101

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の 編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
田中恵子, 田中正美	リウマチ性多発筋痛症	諏訪庸夫	別冊・日本臨 床, 領域別症候 群 35, 骨格筋 症候群上巻	日本臨牀社	大阪	2001	347-349
田中恵子, 田中正美	混合性結合組織病	諏訪庸夫	別冊・日本臨 床, 領域別症候 群 35, 骨格筋 症候群上巻	日本臨牀社	大阪	2001	343-346
田中恵子, 田中正美	アンチシンセターゼ症候群	諏訪庸夫	別冊・日本臨 床, 領域別症候 群 35, 骨格筋 症候群上巻	日本臨牀社	大阪	2001	336-338
田中正美, 田中恵子	Sjogren 症候群	諏訪庸夫	別冊・日本臨 床, 領域別症候 群 35, 骨格筋 症候群上巻	日本臨牀社	大阪	2001	339-342
田中正美, 田中恵子	慢性関節リウマチ	諏訪庸夫	別冊・日本臨 床, 領域別症候 群 35, 骨格筋 症候群上巻	日本臨牀社	大阪	2001	330-332
田中正美, 田中恵子	全身性強皮症	諏訪庸夫	別冊・日本臨 床, 領域別症候 群 35, 骨格筋 症候群上巻	日本臨牀社	大阪	2001	333-335
田中正美, 田中恵子	全身性エリテマトーデス	諏訪庸夫	別冊・日本臨 床, 領域別症候 群 35, 骨格筋 症候群上巻	日本臨牀社	大阪	2001	327-329
田中正美, 田中恵子	細胞内抗原に対する抗体の作用機序	田中正美, 湯浅龍彦	別冊・医学のあ ゆみ, 21 世紀の 神経免疫学 - 展 望	医歯薬出版	東京	2001	9-12

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の 編者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
田中恵子	筋萎縮性側索硬化症 (ALS) と免疫異常一運動ニューロン症候を呈する自己免疫疾患一	田中正美, 湯浅龍彦	別冊・医学のあゆみ, 21世紀の神経免疫学一展望	医歯薬出版	東京	2001	169-172
田中正美, 田中恵子	傍腫瘍性神経症候群の細胞傷害性T細胞	田中正美, 湯浅龍彦	別冊・医学のあゆみ, 21世紀の神経免疫学一展望	医歯薬出版	東京	2001	181-183
河内 泉, 田中恵子, 田中正美, 辻 省次	多発筋炎	田中正美, 湯浅龍彦	別冊・医学のあゆみ, 21世紀の神経免疫学一展望	医歯薬出版	東京	2001	200-204
中村龍文	HAM 発症の免疫学的機序 一慢性脊髄炎の病態形成に關与する CD4 陽性 T リンパ球の機能一	田中正美, 湯浅龍彦	別冊・医学のあゆみ, 21世紀の神経免疫学一展望	医歯薬出版	東京	2001	115-118
中村龍文, 本村政勝	神経系疾患 Lambert-Eaton 筋無力症候群	諏訪庸夫	日本臨床 59 増刊, 本邦臨床統計集(2)	日本臨牀社	大阪	2001	629-636
服部孝道, 川口直樹	重症筋無力症	疾病対策研究会	難病の診断と治療指針	六法出版社	東京	2001	25-32
原 寿郎	白血球マイコバクテリア殺菌障害	大沢利昭, 小山次郎, 奥田研爾, 矢田純一	免疫学事典	東京化学同人	東京	2001	477
原 寿郎	低補体血症	大沢利昭, 小山次郎, 奥田研爾, 矢田純一	免疫学事典	東京化学同人	東京	2001	431
原 寿郎	遺伝性血管神経性浮腫	大沢利昭, 小山次郎, 奥田研爾, 矢田純一	免疫学事典	東京化学同人	東京	2001	49
原 寿郎, 佐藤和夫	V. 血液・造血管系	池ノ上克	新女性医学大系 第31巻 新生児 とその異常	中山書店	東京	2001	281-290
原 寿郎	小児の細菌性髄膜炎	多賀須幸男	今日の治療指針 2001年版	医学書院	東京	2001	850-851

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の 編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
原 寿郎	遺伝子診断・治療	加藤裕久, 満留昭久, 原 寿郎, 吉田一郎	ベッドサイドの 小児の診かた 第2版	南山堂	東京	2001	314-322
原 寿郎	反復感染と免疫不全	加藤裕久, 満留昭久, 原 寿郎, 吉田一郎	ベッドサイドの 小児の診かた 第2版	南山堂	東京	2001	379-393
久永欣哉	神経Sweet病 - 神経Behçet病の類縁 疾患 -	田中正美, 湯浅龍彦	別冊・医学のあ ゆみ, 21世紀の 神経免疫学 - 展 望	医歯薬出版	東京	2001	147-151
水澤英洋	重症筋無力症	高久史麿, 水島 裕, 浦部晶夫, 大田 健, 鎌谷直之, 島田和幸, 菅野健太郎, 武谷雄二 編	今日の処方 改 訂第3版	南江堂	東京	2002	479-480
水澤英洋	多発性硬化症	高久史麿, 水島 裕, 浦部晶夫, 大田 健, 鎌谷直之, 島田和幸, 菅野健太郎, 武谷雄二 編	今日の処方 改 訂第3版	南江堂	東京	2002	481-482
薄敬一郎, 結城伸泰	抗ガングリオシンド抗体と末梢神経障 害: 軸索型 Guillain-Barré 症候群の発症 機序	田中正美, 湯浅龍彦	別冊・医学のあ ゆみ, 21世紀の 神経免疫学 - 展 望	医歯薬出版	東京	2001	133-137
国分則人, 結城伸泰	慢性炎症性脱髄性多発ニューロパチー の治療指針	田中正美, 湯浅龍彦	別冊・医学のあ ゆみ, 21世紀の 神経免疫学 - 展 望	医歯薬出版	東京	2001	138-142
吉野 英	4. 各種人工呼吸器の特徴と保守管理 4.在宅用 3.PLV-100, PLV-102	沼田克雄 監修, 渡辺 敏, 安本和正 編	人工呼吸療法	秀潤社	東京	2001	246-249

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の 編者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
宮本勝一, 山村 隆	糖脂質による NKT 細胞活性化を介した実験的自己免疫性脳脊髄炎(EAE)の治療	田中正美, 湯浅龍彦	別冊・医学のあゆみ, 21 世紀の神経免疫学－展望	医歯薬出版	東京	2001	63-66
山村 隆	臓器特異的自己免疫病の NK/NKT 細胞による調節	今西二郎, 淀井淳司, 湊長 博, 山本一彦 編	別冊・医学の歩み, 免疫疾患-state of arts	医歯薬出版	東京	2002	印刷中

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Matsuyama W, Kubota R, Hamasaki T, Mizoguchi A, Iwami F, Wakimoto J, Kawabata M, Osame M.	Enhanced Inhibition of lymphocyte activation by mycobacterium avium complex In human T lymphotropic virus type I carriers.	Thorax	56(5)	394-397	2001
Matsuzaki T, Nakagawa M, Nagai M, Usuku K, Higuchi I, Arimura K, Kubota H, Izumo S, Akiba S, Osame M.	HTLV-I proviral load correlates with progression of motor disability In HAM/TSP: Analysis of 239 HAM/TSP patients Including 64 patients followed up for 10 years.	J Neurovirol	7(3)	228-234	2001
Wodarz D, Hall SE, Usuku K, Osame M, Ogg GS, Michael AJ, Nowak MA, Bangham CRM.	Cytotoxic T-cell abundance and virus load In human Immunodeficiency virus type I and human T-cell leukaemia virus type I.	Proc R Soc Lond B Biol Sci	268 (1473)	1215-221	2001
Yashiki S, Fujiyoshi T, Arima N, Osame M, Yoshinaga M, Nagata Y, Tara M, Nomura K, Utsunomiya A, Hanada S, Tajima K, Sonoda S.	HLA-A26, HLA-B4002, HLA-B4006, and HLA-B4801 alleles predispose to adult T cell leukemia: The limited recognition of HTLV type I tax peptide anchor motifs and epitopes to generate anti-HTLV type I tax CD8+ cytotoxic T lymphocytes.	AIDS Research and Human Retroviruses	17(11)	1047-1061	2001
Nakashima I, Fujihara K, Kimpara T, Okita N, Takase S, Itoyama Y.	Linear pontine trigeminal root lesions in multiple sclerosis. -clinical and MRI studies in 5 cases.	Arch Neurol	58	101-104	2001
Misu T, Onodera H, Fujihara K, Matsushima K, Yoshie O, Okita N, Takase S, Itoyama Y.	Chemokine receptor expression on T cells in blood and cerebrospinal fluid at relapse and remission of multiple sclerosis: Imbalance of Th1/Th2-associated chemokine signaling.	J Neuroimmunol	114	207-212	2001
Shimizu H, Shiga Y, Fujihara K, Ohnuma A, Itoyama Y.	Clinical and physiological significance of abnormally prolonged central motor conduction time in HAM/TSP.	J Neurol Sci	185	39-42	2001
Nagata T, Onodera H, Ohuchi M, Suzuki Y, Tago H, Fujihara K, Ishii N, Sugamura K, Shoji Y, Handa M, Tabayashi K, Itoyama Y.	Decreased expression of c-myc family genes in thymuses from myasthenia gravis patients.	J Neuroimmunol	115	199-202	2001

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Oyaizu T, Okada Y, Sagawa M, Yamakawa K, Kuroda H, Fujihara K, Itoyama Y, Tanita T, Motomura M, Kondo T.	Lambert-Eaton myasthenic syndrome associated with an anterior mediastinal small cell carcinoma.	J Thorac Cardiovasc Surg	121	1005-1006	2001
Nakashima I, Fujihara K, Itoyama Y.	Linear pontine and trigeminal root lesions and trigeminal neuralgia.	Arch Neurol	58	1311-1312	2001
Misu T, Fujihara K, Nakashima I, Miyazawa I, Okita N, Takase S, Itoyama Y.	Pure neuromyelitis optica: a clinical, MRI, and immunological study in 10 Japanese patients.	Neurology	56 (Suppl 3)	A196	2001
Nakashima I, Fujihara K, Misu T, Fujimori J, Sato S, Takase S, Itoyama Y.	Clinical features of Japanese multiple sclerosis patients without oligoclonal IgG bands.	Neurology	56 (Suppl 3)	A197	2001
Fujimori J, Nakashima I, Fujihara K, Misu T, Sato S, Takase S, Yamamoto M, Yamamoto N, Itoyama Y.	The epitope analysis of CSF oligoclonal IgG in Japanese MS patients by phage display method.	Neurology	56 (Suppl 3)	A225	2001
Tateyama M, Fujihara K, Ishii N, Sugamura K, Onodera Y, Itoyama Y.	Expression of OX40 in muscles of polymyositis and granulomatous myopathy.	J Neurol Sci	194	29-34	2002
Nakashima I, Fujihara K, Misu T, Fujimori J, Sato S, Takase S, Itoyama Y.	A comparative study of Japanese multiple sclerosis patients with and without oligoclonal IgG bands.	Multi Scler		in press	
Miyazawa I, Fujihara F, Itoyama Y.	Eugène Devic (1858-1930).	J Neurol		in press	
松崎理子, 中島一郎, 志賀 裕, 藤原一男, 糸山泰人	若年性腎血管性高血圧に合併した横断性脊髄症の1例	脳と神経	53	859-862	2001
佐藤 滋, 藤原一男, 高瀬貞夫, 糸山泰人	脱髄疾患 疾患と薬物療法	Clinical Neuroscience	19	166-168	2001
佐藤 滋, 藤原一男, 高瀬貞夫, 糸山泰人	多発性硬化症の免疫学的研究	脊髄脊髄ジャーナル	14	201-204	2001
三須建郎, 中島一郎, 藤原一男, 糸山泰人	横断性脊髄炎	Clinical Neuroscience	19	788-791	2001
糸山泰人, 藤原一男, 中島一郎, 三須建郎, 藤盛寿一, 佐藤 滋	多発性硬化症の治療	Current Insight in Neurological Science	9	2-4	2001
中島一郎, 藤原一男, 糸山泰人	ANCA 陽性脊髄炎	脊髄脊髄ジャーナル	14	432-435	2001

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
宮澤イザベル, 藤原一男, 糸山泰人	Neuromyelitis optica (Devic 病) と視神経脊髄型 MS	脳と神経	53	901-910	2001
中島一郎, 藤原一男, 三須建郎, 糸山泰人	視神経脊髄型 MS の疫学 と臨床	脳と神経	53	911-917	2001
糸山泰人, 藤原一男, 中島一郎, 三須建郎, 藤盛寿一, 佐藤 滋	多発性硬化症 - 病因・病態研究の進歩と新たな治療法 -	脳と神経	54	5-21	2002
Matsumoto S, Ohyagi Y, Inoue I, Oishi A, Goto H, Nakagawa T, Yamada T, Kira J.	Periodic alternating nystagmus in a patient with MS.	Neurology	56	276-277	2001
Kikuchi H, Osoegawa M, Ochi H, Murai H, Horiuchi I, Takahashi H, Yamabe K, Iwaki T, Mizutani T, Oda M, Kira J.	Spinal cord lesions of myelitis with hyperIgEemia and mite antigen specific IgE (atopic myelitis) manifest eosinophilic inflammation.	J Neurol Sci	183	73-78	2001
Osoegawa M, Matsumoto S, Ochi H, Ishiwata K, Nakamura-Uchiyama F, Nawa Y, Yamasaki K, Horiuchi I, Ohyagi Y, Kira J. Kira J, Ochi H.	Localised myelitis caused by visceral larva migrans due to <i>Ascaris suum</i> masquerading as an isolated spinal cord tumour.	J Neurol Neurosurg Psychiatry	70	265-266	2001
Noerager BD, Inuzuka T, Kira J, Blalock JE, Whitaker JN, Galin FS.	Juvenile muscular atrophy of the distal upper limb (Hirayama disease) associated with atopy. An IgM anti-MBP Ab in a case of Waldenström's macroglobulinemia with polynuropathy expressing an idiotype reactive with an MBP epitope immunodominant in MS and EAE.	J Neurol Neurosurg Psychiatry J Neuroimmunol	70 113	798-801 163-169	2001 2001
Minohara M, Ochi H, Matsushita S, Irie A, Nishimura Y, Kira J. Kira J, Horiuchi I, Suzuki J, Osoegawa M, Tobimatsu S, Murai H, Minohara M, Furue M, Ochi H.	Differences between T-cell reactivities to major myelin protein-derived peptides in opticospinal and conventional forms of multiple sclerosis and healthy controls. Myelitis associated with atopic disorders in Japan: a retrospective clinical study of the past 20 years.	Tissue Antigens Intern Med	57 40	447-456 613-619	2001 2001
Ochi H, Wu X-M, Osoegawa M, Horiuchi I, Minohara M, Murai H, Ohyagi Y, Furuya H, Kira J.	Tc1/Tc2 and Th1/Th2 balance in Asian and Western types of multiple sclerosis, HTLV-I-associated myelopathy/tropical spastic paraparesis and hyperIgEaemic myelitis.	J Neuroimmunol	119	297-305	2001

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Horiuchi I, Ochi H, Murai H, Osoegawa M, Minohara M, Furuya H, Kira J.	Th2 shift in mononeuritis multiplex and increase of Th2 cells in chronic inflammatory demyelinating polyneuropathy: an intracellular cytokine analysis. アトピー性皮膚炎と重症筋無力症	J Neurol Sci	193	49-52	2001
大八木保政, 村井弘之, 甲斐康稔, 小副川学, 堀内 泉, 越智博文, 吉良潤一	Lhermitte 徴候のみを呈したブタ回虫幼虫移行症にともなう脊髄炎の 1 症例	臨床神経	41	207	2001
川尻真和, 小副川学, 大八木保政, 荒木武尚, 越智博文, 古谷博和, 山田 猛, 名和行文, 吉良潤一	アトピー性脊髄炎	臨床免疫	36	143-149	2001
吉良潤一	アトピー性脊髄炎	内科	87	1454-1459	2001
越智博文, 吉良潤一	アトピー性脊髄炎	Clinical Neuroscience	19	792-794	2001
越智博文, 吉良潤一	臓器所見にみる膠原病: 神経・筋	医学と薬学	46	41-46	2001
堀内 泉, 吉良潤一	多発性硬化症におけるインターフェロン療法	日本病院薬剤師会雑誌	37	1007-1011	2001
越智博文, 吉良潤一	アトピー性脊髄炎	Bio Clinica	16	1034-1038	2001
納 光弘, 糸山泰人, 出雲周二, 吉良潤一	HAM に対するインターフェロン療法	薬の知識	52	89-102	2001
吉良潤一	ダニアレルギーと脊髄炎	日本医事新報	4035	101	2001
村井弘之, 吉良潤一	多発性硬化症: 研究と治療の進歩と展望	日本臨床	59	1211-1218	2001
三野原元澄, 吉良潤一	視神経脊髄型 MS の疾患感受性遺伝子	脳と神経	53	919-926	2001
吉良潤一	Hopkins 症候群の疾患分類学的位置とその今日的意義	神経内科	56	32-40	2001
Kira J, Osoegawa M, Horiuchi I, Murai H, Minohara M, Ohayagi Y, Furuya H, Tobimatsu S, Ochi H.	History of allergic disorders in common neurologic diseases in Japanese patients.	Acta Neurol Scand		in press	
Kira J	Atopy and neural damage.	Intern Med		in press	
越智博文, 小副川学, 堀内 泉, 村井弘之, 三野原元澄, 吉良潤一	アトピー性脊髄炎の免疫学的検討	第 10 回国際痒みシンポジウム記録集		印刷中	
小副川学, 越智博文, 山田 猛, 堀内 泉, 村井弘之, 吉良潤一	アトピー性脊髄炎における潜在性末梢神経障害の合併についての検討	末梢神経		印刷中	
吉良潤一, 越智博文, 小副川学	アトピー性脊髄炎と Hopkins 症候群	臨床神経学		印刷中	

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
吉良潤二	多発性硬化症治療の進歩と展望	臨床神経学		印刷中	
吉良潤一	ダニアレルギーと神経障害	臨床神経学		印刷中	
吉良潤一	多発性硬化症	難病と治療		印刷中	
小副川学, 吉良潤一	MRI のすべて up to Date: アトピー性脊髄炎	脊髄脊椎ジャーナル		印刷中	
越智博文, 吉良潤二	急性散在性脳脊髄炎/アトピー性脊髄炎	看護のための最新医学講座		印刷中	
小副川学, 吉良潤二	アトピー性脊髄炎	Monthly Book of Orthopaedics		印刷中	
堀内 泉, 吉良潤一	多発性硬化症	日本臨床		印刷中	
吉良潤一	アトピー性脊髄炎、平山病	アレルギー科		印刷中	
堀内 泉, 三野原元澄, 吉良潤一	Helper Tcell と脱髄疾患	内科		印刷中	
堀内 泉, 吉良潤一	神経精神疾患治療の EBM: 多発性硬化症	脳の科学		印刷中	
吉良潤一	平山病とアトピー素因の関係について	脊髄脊椎ジャーナル		印刷中	
堀内 泉, 吉良潤二	EBM のための内科疾患データベース — 治療方針決定のために — 多発性硬化症	内科		印刷中	
越智博文, 吉良潤一	多発性硬化症とアトピー性疾患	神経内科		印刷中	
Kuroki S, Saida T, Nukina M, Yoshioka M, Seino J.	Three patients with ophthalmoplegia associated with campylobacter jejuni.	Pediatric Neurology	25	71-74	2001
齋田孝彦, 糸山泰人, 深澤俊行	多発性硬化症における新しい治療戦略: IFN β 療法	Medical Tribune		21-24	2001
齋田孝彦, 吉川弘明, 本村政勝, 犬飼 晃, 小西哲郎	重症筋無力症におけるタクロリムスの可能性を探る	Mebio	18	116-121	2001
松井 真, 王 会雲, 荒谷信一, 齋田孝彦	中枢性脱髄疾患とケモカイン/ケモカイン受容体	Neuroimmunology	9(2)	213-218	2001
齋田孝彦	多発性硬化症のインターフェロン療法	Annual Review 神経		89-97	2002
齋田孝彦	多発性硬化症のインターフェロン療法	2002			
Pal E, Tabira T, Kawano T, Taniguchi M, Miyake S, Yamamura T.	Costimulation-dependent modulation of experimental autoimmune encephalomyelitis by ligand stimulation of V α 14NK T cells.	J Immunol	166	662-668	2001
Fazekas G, Hara H, Tabira T.	Characteristics of CpG-oligonucleotide stimulation on lymphocyte subpopulations and on the induction of experimental autoimmune encephalomyelitis.	Neuroimmunology	9	62-63	2001
Xu W, Fazekas G, Hara H, Tabira T.	Regulatory role of natural killer(NK) cells in experimental autoimmune encephalomyelitis in SJL/J mice.	Neuroimmunology	9	64-65	2001

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Michizono K, Umehara F, Hashiguchi T, Arimura K, Matsuura E, Watanabe O, Fujimoto N, Okada Y, Osame M.	Circulating levels of MMP-1, -2, -3, -9, and TIMP-1 are increased in POEMS syndrome.	Neurology	56	807-810	2001
Inoue K, Matsuyama W, Hashiguchi T, Wakimoto J, Hirotsu Y, Kawabata M, Arimura K, Osame M.	Expression of vascular endothelial growth factor in pulmonary aspergilloma.	Intern Med	40	1195-1199	2001
有村公良	最近注目されてきた疾患・病態・治療 内科のトピックスを知る	イオンチャネルと神経疾患 内科	87	1510-1515	2001
有村公良	イオンチャネルと末梢神経障害	臨床神経生理学	29	391-399	2001
Arimura K.	Rippling muscle syndrome	Intern Med		in press	2002
Arimura K, Sonoda Y, Watanabe O, Nagado T, Kurono A, Tomimitsu H, Kameyama M, Osame M.	Isaacs' syndrome as a potassium channelopathy of the nerve.	Muscle Nerve		in press	2002
Matsuzaki T, Nakagawa M, Nagai M, Usuku K, Higuchi I, Arimura K, Kubota H, Izumo S, Akiba S, Osame M.	HTLV-I proviral load correlates with progression of motor disability in HAM/TSP: analysis of 239 HAM/TSP patients including 64 patients followed up for 10 years.	J Neurovirol	7(3)	228-234	2001
Makino M, Utsunomiya A, Maeda Y, Shimokubo S, Izumo S, Baba M.	Association of CD40 ligand expression on HTLV-I-infected T cells and maturation of dendritic cells.	Scand J Immunol	54	574-581	2001
出雲周二	脊髄・update. HTLV-I-associated myelopathy(HAM).	Clinical Neuroscience	19	795-798	2001
柴木謙次, 野村恭一, 大野良三, 島津邦男	人參養榮湯による実験的自己免疫性脳脊髄炎の抑制	神経治療学		印刷中	2002
Kage M, Yang Q, Sato H, Matsumoto S, Kaji R, Akiguchi I, et al.	Acidic fibroblast growth factor (FGF-1) in the anterior horn cells of ALS and control cases.	Neuroreport	12 (17)	3799-3803	2001
Kaji R.	Basal ganglia as a sensory gating devise for motor control.	J Med Invest	48 (3-4)	142-146	2001
Kaji R, Murase N.	Sensory function of basal ganglia.	Mov disord	16 (4)	593-594	2001
Matsumoto S, Nishimura M, Kaji R, Sakamoto T, Mezaki T, Shimazu H, et al.	DYT1 mutation in Japanese patients with primary torsion dystonia.	Neuroreport	12 (4)	793-795	2001

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Mezaki T, Matsumoto S, Hamada C, Mukoyama I, Sakamoto T, Mizutani K, et al.	Decreased serum ceruloplasmin and copper levels in cervical dystonia.	Ann Neurol	49 (1)	138-139	2001
Yang Q, Kaji R, Takagi T, Kohara N, Murase N, Yamada Y, et al.	Abnormal axonal inward rectifier in streptozocin-induced experimental diabetic neuropathy.	Brain	124 (Pt 6)	1149-1155	2001
Kiernan MC, Guglielmi JM, Kaji R, Murray NMF, Bostock H.	Evidence for axonal membrane hyperpolarization in multifocal motor neuropathy with conduction block.	Brain	125	664-675	2002
Niino M, Iwabuchi K, Kikuchi S, Ato M, Morohashi T, Ogata A, Tashiro K, Onoe K.	Amelioration of experimental autoimmune encephalomyelitis in C57BL/6 mice by an agonist of peroxisome proliferator-activated receptor- γ .	J Neuroimmunol	116	40-48	2001
Niino M, Kikuchi S, Fukazawa T, Yabe I, Sasaki H, Tashiro K.	Genetic polymorphisms of IL-1 β and IL-1 receptor antagonist in association with multiple sclerosis in Japanese patients.	J Neuroimmunol	118	295-299	2001
Niino M, Kikuchi S, Fukazawa T, Yabe I, Sasaki H, Tashiro K.	Heat shock protein 70 gene polymorphism in Japanese patients with multiple sclerosis.	Tissue Antigens	58	93-96	2001
新野正明, 菊地誠志, 深澤俊行, 田代邦雄	多発性硬化症の病型 — 脊髄型に焦点をあてて	脊椎脊髄ジャーナル	14	180-183	2001
菊地誠志, 深澤俊行, 新野正明, 宮岸隆司, 田代邦雄	疫学および免疫学的側面からみた候補遺伝子の検討	神経免疫学	10	21-22	2002
興水修一, 菊地誠志, 深澤俊行, 新野正明, 田代邦雄	多発性硬化症における TNF- β 遺伝子多型についての検討	神経免疫学	10	48-49	2002
宮岸隆司, 新野正明, 深澤俊行, 菊地誠志, 濱田 毅, 田代邦雄	北海道在住の MS における DRB1*1501, DPB1*0301, DPB1*0501 の再検討	神経免疫学	10	50-51	2002
新野正明, 岩淵和也, 菊地誠志, 阿戸 学, 諸橋大樹, 緒方昭彦, 小野江和則, 田代邦雄	ペルオキシノーム増殖刺激受容体 γ (PPAR- γ) 特異的リガンド, troglitazone による実験的自己免疫性脳脊髄炎(EAE)抑制	神経免疫学	10	110-111	2002
Kaida K, Kusunoki S, Kamakura K, Motoyoshi K, Kanazawa I.	Guillain-Barré syndrome with IgM antibody to the ganglioside GalNAc-GD1a.	J Neuroimmunol	113	260-267	2001
Miyazaki T, Kusunoki S, Kaida K, Shiina M, Kanazawa I.	Guillain-Barré syndrome associated with IgG monospecific to ganglioside GD1b.	Neurology	56	1227-1229	2001

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Shiina M, <u>Kusunoki S</u> , Miyazaki T, Kanazawa I.	Variability in immunohistochemistries of IgM M-proteins binding to sulfated glucuronyl paragloboside.	J Neuroimmunol	116	206-212	2001
Yamaguchi M, Chiba A, Yanagawa T, Mato T, Hirai K, Inoue T, Oya Y, <u>Kusunoki S</u> , Ito K, Yamamoto K.	Guillain-Barré syndrome following herpes zoster in a patient with systemic sclerosis.	Modern Rheumatology	11	251-254	2001
<u>Kusunoki S</u> , Shiina M, Kanazawa I.	Anti-Gal-C antibodies in GBS subsequent to mycoplasma infection: evidence of molecular mimicry	Neurology	57	736-738	2001
Mizutani K, Oka N, <u>Kusunoki S</u> , Kaji R, Mezaki T, Akiguchi I, Shibasaki H.	Sensorimotor demyelinating neuropathy with IgM antibody against gangliosides GD1a, GT1b and GM3.	J Neurol Sci	188	9-11	2001
Hagiwara H, Enomoto-Nakatani S, Sakai K, Ugawa Y, <u>Kusunoki S</u> , Kanazawa I	Stiff-person syndrome associated with invasive thymoma: a case report.	J Neurol Sci	193	59-62	2001
Suzuki M, Suetake K, Kasama T, Ariga T, Shiina M, <u>Kusunoki S</u> , Yu RK.	Characterization of a phospholipid antigen reacting with serum antibody in patients with peripheral neuropathies and paraproteinemia.	J Neurochem	79	970-975	2001
田口芳治, 高嶋修太郎, 井上 博, 楠 進	抗GT1a抗体価が高値で、咽頭筋麻痺を初発症状としたMiller Fisher 症候群の1例	脳と神経	53	275-278	2001
渡辺めぐみ, 木下郁夫, 藤本真澄, 中根俊成, 本村政勝, 中村龍文, 楠 進, 高橋正樹, 斎藤香彦	Penner 2 型 Campylobacter jejuni が分離された Guillain-Barré 症候群の1例	脳と神経	53	759-762	2001
伊藤さやか, 廣瀬善清, 空野謙次, 楠 進	球麻痺を伴い、血清中抗GD1a抗体と抗GT1b抗体の上昇を示した Guillain-Barré 症候群の1例	臨床神経学	41	202-205	2001
三方崇嗣, 楠 進	RAにおける多発性神経障害と多発性単神経障害	RA & セラピー	7	26-33	2001
楠 進	自己免疫によるニューロパチー - 抗糖脂質抗体の意義 -	医学のあゆみ	198	389-393	2001
海田賢一, 楠 進	Guillain-Barré 症候群および関連疾患 - 病態解明と治療法の進歩 -	脳の科学	23	647-654	2001
楠 進	末梢神経障害の治療の進歩	神経治療学	18	361-363	2001
海田賢一, 楠 進	Guillain-Barré 症候群と抗ガングリオン抗体 - 抗体の種類と臨床像 -	神経免疫学	9	219-224	2001
楠 進	神経精神疾患治療のEBM-エビデンスに基づく神経精神疾患の治療戦略 - キラン・バレー症候群	脳の科学	24	79-84	2002
渡辺春江, 新藤和雅, 中村由紀, 永松正明, 塩澤全司, 楠 進	キャンピロバクター腸炎後に発症した Guillain-Barré 症候群の1例 - 非発症例との血清抗ガングリオン抗体価の比較 -	臨床神経学		印刷中	

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
米田 誠, 藤井昭弘, 栗山 勝	橋本脳症 一見過ざれている治療可能な疾患 -	臨床検査		印刷中	2002
Kohriyama T, Ochi K, Higaki M, Ikeda J, Nakamura S.	Significance of M-CSF and MCP-1 in the pathogenesis of multiple sclerosis.	J Neuroimmunology	118(1)	15	2001
Ochi K, Kohriyama T, Higaki M, Kozuka K, Matsuoka N, Nakamura S.	Dynamics of serum M-CSF and MCP-1 levels in chronic inflammatory demyelinating polyradiculoneuropathy by intravenous immunoglobulin therapy.	J Neuroimmunology	118(1)	68	2001
Ikeda J, Kohriyama T, Ochi K, Harada A, Nakamura S.	Macrophage colony-stimulating factor (M-CSF) in autoimmune neuropathies.	J Neuroimmunology	118(1)	99	2001
池田順子, 郡山達男, 越智一秀, 川上秀史, 中村重信	難治性で長期経過した慢性炎症性脱髄性多発根ニューロパチーに対する免疫グロブリン療法の効果	神経治療学	18(3)	247-252	2001
谷脇雅也, 井上 健, 郡山達男, 中村重信	慢性炎症性脱髄性多発根神経炎と多発性硬化症の合併 - 脳幹部 MRI と SSEP 所見 -	神経内科	54(4)	386-387	2001
郡山達男, 越智一秀, 檜垣雅裕, 池田順子, 中村重信	多発性硬化症の病変形成における macrophage-colony stimulating factor (M-CSF) と monocyte chemotactic protein-1 (MCP-1) の役割	神経免疫学	9(1)	50-51	2001
越智一秀, 郡山達男, 檜垣雅裕, 池田順子, 原田 暁, 有村公良, 中村重信	慢性炎症性脱髄性多発根神経炎に対する免疫グロブリン大量療法における血清中 M-CSF, MCP-1 の変動の検討	神経免疫学	9(1)	146-147	2001
檜垣雅裕, 越智一秀, 池田順子, 原田 暁, 郡山達男, 有村公良, 中村重信	慢性炎症性脱髄性多発根神経炎に対する免疫グロブリン大量療法によるサイトカインの動態	神経免疫学	9(1)	144-145	2001
斎藤豊和	免疫学的観点から	神経治療学	18(1)	13-22	2001
斎藤豊和	免疫性ニューロパチーの治療ストラテジー	内科	87(6)	1449-1453	2001
塚原信也, 斎藤豊和 他	呼吸困難で発症した pharyngeal-cervical-brachial weakness の1例	運動障害	11(1)	19-23	2001
Saito T.	T Cell Activation in Demyelinating neuropathy Associated with "Benign" Anti-Myelin Associated Glycoprotein IgM Gammopathy and in MS-Soluble Interleukin-2 Receptor Levels in Serum and Cerebrospinal Fluid	北里医学	31(4)	255-260	2001
斎藤豊和 他	ギランバレー症候群の診療を再考する	Progress in Medicine	21(10)	2379-2386	2001
井出俊光, 斎藤豊和 他	急性発症の両側眼球運動障害, 両側IX, X麻痺, 片側性VII麻痺を呈し, 抗GQ1b, G T 1a 抗体陽性の男子例	運動障害	11(2)	91-96	2002
加藤知也, 斎藤豊和 他	凹足, 錐体路徴候の著明な遺伝性運動感覚性ニューロパチーの1家系	北里医学	32(1)	in press	

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
糠澤達志, 斎藤豊和 他	MAG関連ニューロパチーにおける臨床経過と抗MAG抗体の変動	北里医学	32(1)	in press	
楠 淳一, 斎藤豊和 他	X連鎖優位 Charcot-Marie-Tooth (CMTX1) における臨床表現型と遺伝子型	北里医学	32	in press	
Sakai K, Kitagawa Y, Li Y, Shirakawa T, Hirose G.	Suppression of the transcriptional activity and DNA binding of nuclear factor-kappa B by a paraneoplastic cerebellar degeneration associated antigen.	J Neuroimmunol	119	10-15	2001
Sakai K, Li Y, Shirakawa T, Kitagawa Y, Hirose G.	Induction of major histocompatibility complex class I molecules on human neuroblastoma line cells by a flavoid antioxidant.	Neurosci Lett	298	127-130	2001
酒井宏一郎	タクロリムス水和物	臨床と薬物治療	20	423-425	2001
酒井宏一郎	傍腫瘍性ニューロパチー	CILINICAL NEUROSCIENCE	19	53-57	2001
酒井宏一郎	目で見えるバイオサイエンス 傍腫瘍性神経症候群	内科	89	348-352	2001
酒井宏一郎	自己抗体からみた傍腫瘍性神経症候群	薬の知識	52	5-10	2001
Sakai K, Shirakawa T, Kitagawa Y, Li Y, Hirose G.	Interaction of a paraneoplastic cerebellar degeneration-associated neuronal protein with a nuclear helix-loop-helix leucine zipper protein MRGX.	Mol Cell Neurosci		in press	
Michikami D, Iwase S, Kamiya A, Fu Q, Mano T, Suzumura A.	Interrelations of vasoconstrictor sympathetic outflow to skin and core temperature during unilateral sole heating in humans.	AUTONOMIC NEUROSCIENCE: Basic & Clinical	91	55-61	2001
Fu Q, Iwase S, Niimi Y, Kamiya A, Kawanokuchi J, Cui J, Mano T, Suzumura A.	Effects of lower body positive pressure on muscle sympathetic nerve activity response to head-up tilt.	American Journal of Physiology Regulatory, Integrative and Comparative Physiology	281	778-785	2001
Kamiya A, Michikami D, Fu Q, Niimi Y, Iwase S, Mano T, Suzumura A.	Static handgrip exercise modifies arterial baroreflex control of vascular sympathetic outflow in humans.	American Journal of Physiology Regulatory, Integrative and Comparative Physiology	281	1134-1139	2001
錫村明生	Hopkins 症候群の免疫学的機序	神経内科	56	41-44	2002
小松恵美, 錫村明生	Hopkins 症候群の画像診断	神経内科	56	50-53	2002
錫村明生	多発性硬化症の治療と予後	脊髄脊椎ジャーナル	14	205-208	2001
錫村明生, 田中正美, 松本 陽, 吉良潤一	神経免疫学の最近の進歩	神経内科	55	601-604	2001
田中正美, 松尾秀徳, 錫村明生	CIDP の治療指針について	神経内科	55	409-410	2001

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
杉江和馬, 村田顯也, 市川昌平, 錫村明生	妊娠を契機に発症した重症筋無力症の1症例	神経内科	54	363-366	2001
錫村明生	神経疾患とサイトカイン	最新医学	56	1265-1270	2001
Ito Y, Yamamoto M, Mitsuma N, Li M, Hattori N, Sobue G.	Expression of mRNAs for ciliary neurotrophic factor (CNTF), leukemia inhibitory factor (LIF), interleukin-6 (IL-6), and their receptors (CNTFR α , LIFR β , IL-6R α , and gp130) in human peripheral neuropathies.	Neurochem Res	26(1)	51-58	2001
Hattori N, Misu K, Koike H, Ichimura M, Nagamatsu M, Hirayama M, Sobue G.	Age of onset influences clinical features of chronic inflammatory demyelinating polyneuropathy.	J Neurol Sci	184	57-63	2001
Yamamoto M, Ito Y, Mitsuma N, Li M, Hattori N, Sobue G.	Pathology related differential expression regulation of NGF, GDNF, CNTF, and IL-6 mRNAs in human vasculitic neuropathy.	Muscle Nerve	24	830-833	2001
Mori K, Koike H, Misu K, Hattori N, Ichimura M, Sobue G.	Spinal cord magnetic resonance imaging demonstrates sensory neuronal involvement and clinical severity in neuropathy associated with Sjögren's syndrome.	J Neurol Neurosurg Psychiatry	71(4)	488-492	2001
Tanaka M, Tanaka K, Tsuji S, Kawata A, Kojima S, Kurokawa T, Kira J, Takiguchi M	Cytotoxic T cell activity against the peptide, AYRARALEL, from Yo protein of patients with the HLA A24 or B27 supertype and paraneoplastic cerebellar degeneration.	J Neurol Sci	188(1-2)	61-65	2001
Tanaka M, Tanaka K.	Are transfectant cells essential for measuring cytotoxic T cells in paraneoplastic cerebellar degeneration?	Ann Neurol.	49(5)	686-687	2001
Tanaka K, Kawachi I, Tanaka M, Tsuji S	ELISPOT assay for the Hu antigen epitope-reactive T cells in paraneoplastic limbic encephalitis with anti-Hu antibody.	J Neuroimmunol	118	145	2001
Kawachi I, Tanaka K, Tanaka M, Tsuji S.	Dendritic cells presenting pyruvate kinase M1/M2 isozyme peptide can induce experimental allergic myositis in BALB/c mice.	J Neuroimmunol	118	156	2001
Kawachi I, Tanaka K, Tanaka M, Tsuji S.	Dendritic cells presenting pyruvate kinase M1/M2 isozyme peptide can induce experimental allergic myositis in BALB/c mice.	J Neuroimmunol	117	108-115	2001
黒川智美, 谷脇孝恭, 荒川健次, 菊池仁志, 八尾隆史, 田中恵子, 田中正美, 山田 猛, 吉良潤一	静止時振戦を呈した抗 Yo 抗体陽性の paraneoplastic cerebellar degeneration の 1 例	臨床神経学	41 (1)	24-30	2001
田中恵子	傍腫瘍性神経症候群の病態機序解明に向けて	新潟医学会雑誌	115(10)	501-505	2001
田中正美, 菊川公紀, 眞野 篤, 斉藤正明, 田中恵子	アトピー性脊髄炎と関連疾患の整理 - 錐体路病変の存在と Th2 dominant allergic myelitis の提唱 -	神経内科	55	194-195	2001

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
河内 泉, 田中恵子, 田中正美, 辻 省次	多発筋炎	臨床免疫	35(4)	200-204	2001
Sato K, Motomura M, Suzu H, Nakao Y, Fujimoto T, Fukuda T, Nakae S, Nakamura T, Eguchi K.	Neurogenic bladder in Lambert-Eaton myasthenic syndrome and its response to 3,4-diaminopyridine.	J Neurol Sci	183	1-4	2001
中村龍文	インターフェロンプラファ (NAMALWA)	臨床と薬物治療 別冊	20(4)	410-412	2001
Hamasaki S, Nakamura T, Furuya T, Kawakami A, Ichinose K, Nakashima T, Nishiura Y, Shirabe S, Eguchi K.	Resistance of CD4-positive T lymphocytes to etoposide-induced apoptosis mediated by upregulation of Bcl-xL expression in patients with HTLV-I-associated myelopathy.	J Neuroimmunol	117	143-148	2001
本村政勝, 中尾洋子, 福田 卓, 辻野 彰, 調 漸, 中村龍文, 江口勝美, 吉村俊朗, 辻畑光宏	放射性免疫測定法による血清P/Q型電位依存性カルシウムチャネル抗体測定-LEMS キットの基礎的及び臨床的検討一	神経免疫学	9(2)	233-238	2001
Tsujihata M, Ito H, Satoh A, Yoshimura T, Motomura M, Nakamura T.	Semiquantitative measurement of acetylcholine receptor at the motor end-plate in myasthenia gravis.	Internal Med	40(5)	376-381	2001
渡辺めぐみ, 木下郁夫, 藤木貞澄, 中根俊成, 本村政勝, 中村龍文, 楠 進, 高橋正樹, 斎藤香彦	Penner2型 Campylobacter jejuni が分離された Guillain-Barre 症候群の1例	脳と神経	53(8)	759-762	2001
Fujimoto T, Nakamura T, Nishino Y, Ichinose K, Furuya T, Shirabe S, Eguchi K.	Up-regulation of interleukin-12 receptor expression in peripheral blood mononuclear cells of patients with HTLV-I-associated myelopathy/tropical spastic paraparesis.	J Neurol Sci		in press	2002
Kambara C, Nakamura T, Furuya T, Nishiura Y, Kawakami A, Ichinose K, Shirabe S, Eguchi K.	Increased Sialyl Lewisx Antigen-Positive Cells Mediated by HTLV-1 Infection in Peripheral Blood CD4+T Lymphocytes in Patients with HTLV-1-Associated Myelopathy.	J Neuroimmunol		in press	2002
Kuwabara S, Mori M, Ogawara K, Hattori T, Yuki N	Indicators of rapid clinical recovery in Guillain-Barre syndrome.	J Neurol Neurosurg Psychiatry	70	560-562	2001
Misawa S, Kuwabara S, Mori M, Kawaguchi N, Yoshiyama Y, Hattori T.	Serum levels of tumor necrosis factor- α in chronic inflammatory demyelinating polyneuropathy.	Neurology	56	666-669	2001
Kuwabara S, Mori M, Ogawara K, Hattori T, Oda N, Koga M, Yuki N	Intravenous immunoglobulin therapy for Guillain-Barre syndrome with IgG anti-GM1 antibody.	Muscle Nerve	24	54-58	2001